

Library Mate

イギリスのクリスマス

大学 英文学科

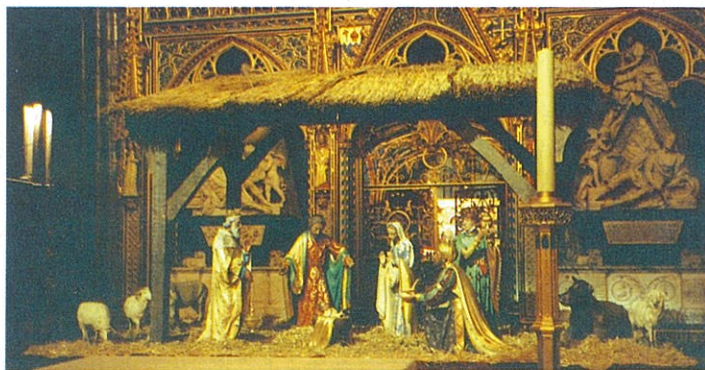
教授 大 関 啓 子

中世ロマンス文学の傑作『ガウェイン卿と緑の騎士』(Sir Gawain and the Green Knight)は、アーサー王の宮廷のクリスマスの饗宴から始まる。馬に乗った全身緑色の不思議な騎士が闖入し、アーサーと円卓の騎士たちに、首切りのクリスマス・ゲームを挑む。緑の馬、緑のチャペル、緑の帯と、物語は一貫して自然界を表す緑色を基調に、クリスマスに始まり次のクリスマスで終わる。イギリスのみならず欧米の人々の心の故里とされる伝説の王アーサーは、ケルト民族の王といわれる。ケルトにとって緑は、聖なる森さらには永遠の生命の象徴であった。

現代でも、緑はクリスマスのシンボルカラーとして、キリストの血を表わす赤、希望を表わす金銀とともに、さまざまなクリスマス飾りに用いられている。11月末、イギリスの町々の市場には、もみの木やヤドリギが並び、子供も大人も胸踊らせて、クリスマスの飾りつけを共に楽しむ。クリスマス・ツリー、キャンドル、ヤドリギ、聖歌、クリスマス・ディナー、そしてプレゼント、これらは今ではすっかりクリスマスの定番となっているが、もともとはキリスト教ではなく、それぞれ異教の習慣を結びつけたものであった。イギリス特有の「ヤドリギの下のキ

ス」(“the kissing under the mistletoe”、クリスマス飾りのヤドリギの下にいる女性にキスをしてもよいという習慣)のヤドリギ飾りも、もともとはケルトのドルイドや北欧の神話にみられたものであった。

『ガウェイン卿と緑の騎士』をはじめとするアーサー王ロマンスが、ケルトの異教の王とキリスト教精神を結びつけたように、人々は皆がクリスマスを楽しめるよう、さまざまに異なった異教の習慣をもとり入れてきた。緯度の高いイギリスでは、11月になると午後3時にはもう日が暮れてしまう。長く厳しい寒さのイギリスの冬、クリスマスは、宗教行事であると同時に、やがて冬は去り、明るい季節がやって来るという希望と心の張りを、人々に与えてくれるお祭りでもある。



ロンドンのウェストミンスター寺院のクリスマス飾り (撮影: 大関)

ロンドン通信

短期大学 国文学科

助教授 高瀬 真理子
(長期海外研修中)

イギリスには初めて来た。地下鉄の乗り方も知らなければ、英語もうまく聞き取れない。翌日から家を探し、住み、漱石の後追いから始まった美術館通いも、いつの間にか自分自身が絵画の世界に入り込み、好みや鑑賞能力が養われてきた。昨日分からなかったこと、昨日出来なかったことが、今日は分かるようになり、今日は出来るようになる、そういうきわめてシブブルな喜びのうちに毎日をご過している。

ナショナル・ギャラリー、テート、ウォーレス、ゴットールド、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツなど、日本では考えられないほど膨大な絵画コレクションがある。それらに繰り返し足を運んでいる。絵画も文学作品と同じく、一度見てそれでお終いというものではない。一枚の絵にも昨日見えなかったことが、今日は見えるということがある。展示換えもある。建物がすでに芸術品で、多くは無料で見ることが出来る。漱石も出かけたイギリス初の美術館、ダリッジや近所のケンウッド・ハウスにも散歩がてら出かける。それぞれにさりげなく名画が飾られているのに驚く。カレッジの落ちついた雰囲気の中にあるダリッジ。ハムステッド・ヒースに隣接した広大なケンウッド。漱石が、絵画を見て歩き、事跡を訪ね、ガイドブックを読みながら、喜々として作品の着想を得た姿が、我がことのように身近に理解されるようになる。

地下鉄を乗りこなせるようになって「A to Z」を片手に街を歩き回り、鉄道で近郊へ行けるようになり、さらに洋書のガイドブックを入手して、郊外、地方へと出られるようになった。今までにエディンバラ、バース、ドーバー、カンタベリー、ソールズベリーなどへも出かけている。

家では、絵はがきを整理したり、ガイドブックや解説書を辞書と首っ引きで読んだりしてい

る。すると、単に見ただけでは気がつかなかったことや新たな課題が見つかって世界が広がる。次に見たいもの、知りたいものが現われて尽きることがない。

この日は、ケンブリッジのフィッツウィリアム博物館へ出かけた。150周年記念の展覧会をやっているが、その展示量の多さには驚く。絵画だけで一日がかり。陶器やその他のコレクションまで見て歩くと、おそらくここだけで、2、3日必要になる。著名な画家の思わぬ絵や、漱石も影響を受けたラファエル前派関係に収穫があつて満足している。電車でわずか1時間ばかりだが、車窓は羊と牛とコートを着た馬の遊ぶ牧草地ばかりである。

そういう自然、気候、景色も大いに新鮮である。イギリスの色彩は日本のそれとは違う。たとえば、ホルマン・ハントの鮮やかな色彩は、イギリスの太陽光線のものだと住んでみて理解できる。漱石が、ミステリアスな雰囲気醸し始める十月のロンドンに到着したことも「倫敦塔」の成立には大きかったように感じ始めている。作中に登場する「灰汁桶」に喩えられる空の様子も日本の曇天とはやはり違う。

今年、私の最も専門とするところとは、無縁の一年であろうと思っていた。しかし、ここで、特にターナーの絵画を見て過ごすうちに、日本では思いつかないような大きな着想を得ることが出来た。芸術に国境も文学や美術の区分もない。研究者としてこれほどありがたい収穫はない。



フィッツウィリアム博物館



学生に薦める本

「ノーベル・フラウエンー素顔の女性科学者」(学会出版センター)

大学 食生活科学科

教授 中川靖枝

ノーベル賞は毎年、アルフレッド・ノーベルの命日の12月10日にストックホルムで授与式が行われる。この賞は物理学賞、化学賞、医学生理学賞、文学賞、平和賞、経済学賞の6部門にわかれているが、自然科学域領の前3賞は、ノーベルの遺言によると「前年において最も重要な発見もしくは改良することにより人類に著名な貢献をした研究者」に授与されるはずであった。すなわち、ノーベルの遺志は、賞をめざして奮起する十分に若き自然科学者が世に出る支援を望んだということである。しかし、現実には文句のつけようがない成果をあげる若き研究者はきわめて稀で、ある程度の成果をあげている研究者の業績について秘密裏に審議がなされる。このため、受賞者の平均年齢は62歳で、科学者の経歴の終わりを飾る栄冠になっている。もとより賞というものは自己評価ではなく他者による評価であるから、該当者を含めてすべての人が納得するとは限らない。女子大学で勉学する学生が在学中に受ける評価や、社会に出てさまざまな場面で受ける「評価とは何か?」と考える際の手懸かりになればと、「ノーベル・フラウエンー素顔の女性科学者」(U. フェルシング著 田沢・松本訳)を推薦図書に選んだ。

著者のウラ・フェルシングは、ハンブルグでフリーのジャーナリストとして活躍中の政治学博士である。本書の前半は、「熱望される科学の栄冠」「ノーベル賞は男だけのものか」「九人の女性に十のノーベル賞」からなり、栄誉を受けた女性科学者が具体的にどのような選考過程を経て選出されたのか述べられていて興味深い。先に本賞がノーベルの遺志に反して、かなり時間が経過した業績に贈られていることに触れたが、それは初期に医学生理学部門で発癌物質に

対する誤った理論に授与した手痛い経験からの慎重さが一因と釈明されている。さらに、自然科学部門では本書が出版された1991年までに、羨望のトロフィーが女性に対して10回しか贈られてないことから、女性がめったにノーベル賞というケーキの片割れにありつけない状況に言及している。また、マリー・キュリー、イレヌ・ジョリオ＝キュリーの母娘を始めに9名の受賞者についてはライフスタイルや境遇に触れ、未婚者、既婚者、子育てとさまざまな様子と、受賞も単独、夫婦そろってなどその背景が述べられている。後半は「ノーベル賞受賞者の陰で」「ストックホルムへの難関」「ノーベル賞受賞者は特定のタイプの女性か?」「次は誰か?」からなり、檜舞台に立つ栄誉に縁がなかった女性科学者にも光があてられている。受賞女性は日常生活において女性美の外面的な特徴に、誰一人として過大な価値を置かなかったが、それは“過剰な女性らしさ”どんな場合でも女性科学者の評判を落とすことになったのに対し、中性的な外見は通常なら女性に許されないような行動を可能にしたからである。例えば、研究における独立独歩を得ようとする勇気や研究におけるつまらない“下働き”への抵抗、さらに研究の持続を保証する友人や配偶者を選択するなどである。既婚受賞者は、女性をアクセサリあるいは母親代わりに必要とする、古めかしい意識の男性には何ら関心を持たず、学問上の同業者を伴侶に2～3人の子供も育てた。彼女たちは研究生活を決して生真面目なことがらとしていたわけではなく、自分の専門分野に関連して大いに楽しんで満足していた。21世紀に働く女性のあり方に、思い悩んでいる人には少なからず参考になるであろう。

(大学図書館所蔵 289-F84F)

目録検索端末で製本雑誌・AV資料の検索をしよう！

現在大学図書館内にある9台の目録検索端末（1階目録コーナー：8台、地下1階：1台）で、製本雑誌とAV資料が検索出来るようになりました。

★製本雑誌の探し方

製本雑誌の検索は図書と同様、誌名・誌名のヨミ・編者名・編集者名のヨミ・出版者等のキーワードから探せます。

例 「文学」という語の含まれる和雑誌・紀要を検索する

- ①検索端末画面で蔵書検索をクリックします。
- ②検索資料を資料選択ボタンで和雑誌（洋雑誌の場合は洋雑誌）に限定します（画面2）。こうすると、より効率的に探すことができます。
- ③検索文字列画面（画面1）に、「文学」（「ぶんがく」「ブンガク」などでも可）と入力します。検索の仕方については、検索端末の脇に置いてある『検索項目・検索語の入力方法一覧表』を参照して下さい。
- ④検索結果の詳細画面（画面3）で、保管場所と配架場所（和雑誌の場合はさらに請求記号）を確認します。
- ⑤保管場所・配架場所・請求記号をメモしたら、実際に書架に本を探しに行きましょう。

配架場所

<製本された和雑誌・紀要>

地下2階の製本和雑誌・紀要コーナーに配架されています。和雑誌は請求記号順に、紀要は大学名のローマ字読みのABC順に並んでいるので、検索端末で調べた結果を元を探します。

<製本された洋雑誌>

地下1階の製本洋雑誌コーナーに誌名のABC順に配架されています。

一部、集密書庫にありますので、注意してください。

※来年度から製本洋雑誌は集密書庫に配架されます。集密書庫の他の資料と同様、利用の際はカウンターに申し込んで下さい。（詳しくは7ページのLibrary Mailをお読み下さい。）

★AV資料の探し方

AV資料の検索は図書や製本雑誌と同様、タイトル名・タイトル名のヨミ等のキーワードから探せます。また、キャプション・ビデオは原題名と邦題名（邦題名のヨミ）のどちらからも探すことができ、検索結果の詳細画面でそのビデオに対応したスクリーンプレイの有無とその番号もわかります。

検索の際は、製本雑誌と同様に資料選択ボタンでAV資料に限定すると、より効率的に探すことができます。

画面1

実践女子大学図書館 検索

文学

あ か さ た な は ま や ら わ あ や い ー
 い せ し ち に ひ み り を い ら ー
 ろ く す つ ぬ ふ る ら る ん ろ よ ー
 え け せ て ね ら め ら

画面2

検索する資料を選択して下さい。
 複数の資料を指定できます。

全資料選択

選択されている資料

和図書 洋雑誌 AV資料
 洋図書 和製本雑誌 指定図書
 和雑誌 洋製本雑誌 (選択できません)

※ AV 資料
 の場合はこ
 こで AV 資
 料を選択し
 ます。

実践女子大学図書館 書誌詳細

資料名 和雑誌 貸出許可

赤い部分は検索で見つかった言葉を表します

分類記号1 905
 分類記号2 10

雑誌名1 文学散歩
 雑誌名2 BLV 1-25
 巻号次1
 受入先
 責任表示 野田 宇太郎(1909-1984)
 出版地 東京
 出版者 雷華社
 発行年度
 国名コード JA
 言語コード JPN
 ISSN
 注記1 個人購者:野田宇太郎
 注記2 出版者変更:雷華社(-10号)→文学散歩友の会事務局(11号→)
 サイズ
 所蔵表示 連続

保管場所 大学図書館 配架場所 和製本雑誌

件名一覧 各号一覧 一覧へ戻る

前の資料へ No.7を表示中 次の資料へ

※ 製本和
 雑誌の場
 合は、こ
 のラベル
 の番号順
 に並んで
 います。

※ 保管場
 所、配架
 場所を確
 認して下
 さい。



画面3

注意!!

現在、製本雑誌・AV資料の貸出は行っていません。
 利用は館内閲覧のみ(複写は出来ます)となっております。

実践女子大学図書館のホームページ(<http://www.jissen.ac.jp/library/>)にて第2回電子展示『赤本の世界』(佐藤悟国文学科教授解説)を行っております。「かくれ里福神嫁入」、「舌きれ雀」(2点)など親しみやすい江戸期の刊本が、頁を開く感覚で一読出来ます。是非ご覧ください。

古典籍紹介 1

宗安小歌集(異本) 常磐松文庫所蔵

『宗安小歌集』は別名「室町時代小歌集」とも称される。民衆のエネルギーの発露とも言うべき中世歌謡の中でも、中世末期から近世初頭にかけて流行した小歌を集成した本書は、「閑吟集」に代表される伝統的な小歌を含みつつ、近世歌謡の萌芽の見える隆達節小歌への流れの中で、その中間に位置する。近世歌謡の洗練された小唄に比べて、素朴で、人々の感情をストレートに表現した口ずさみの謡(うた)である。

この『宗安小歌集』は、昭和6年9月、笹野堅氏所蔵の卷子本が、『室町時代小歌集』(萬葉閣刊 玻璃版 所収歌数二百二十一首 うち二首重複)として影印・翻刻され世に出たが、原本が長年行方不明となっていた。その原本が、一昨年65年ぶりに発見されて国文学研究資料館の所蔵に帰し、平成9年5月「よみがえる宗安小歌集」と題して展示会が催された。

編者は宗安。その人物については諸説あるが未詳。序・奥書は、久我有庵三休。久我敦通(寛永元年没六十歳)説と、その叔父日勝(天正十五年没四十六歳)の二説がある。

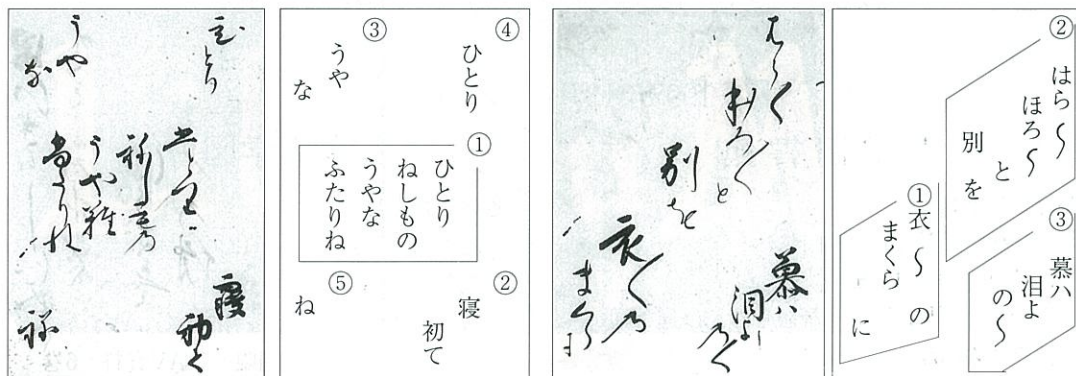
その序文「ちはやふる神代は、文字の数定まらず。人の世となりて三十一文字の歌に定めしよりこの方...」は、『古今集』の仮名序「ちはやふる神代には、歌の文字も定まらず(中略)人の世となりて素戔鳴尊よりぞ、三十一文字あまり一文字は詠みける...」の形式を借りたパロディであり、本歌取りの小歌も多く存在する。またその序文に「独り酒を楽しみ小歌を歌ひつつ、貴きにも交はり賤しきにも睦び、老いたるをも伴ひ若きにも懐かしうせられたる、沙弥宗安といふあり、古き新しき小歌に節々を付けて、川竹の世々のもてあそびとぞなし侍る。」とあるように、古典の教養の深い貴族、僧侶、武士階級の知識人層と裕福な庶民階級が混在する「雅」と「俗」の遊興の世界でもあった。

現存する『宗安小歌集』は、この笹野堅氏旧蔵本と実践女子大学本の二本である。実践女子大学本(列帖装一帖 所収歌数十九首 うち一首重複)については、「宗安小歌集(調査報告三 竹本幹夫先生担当)『実践女子大学芸芸資料研究所年報』第1号 昭和57年3月刊)に詳述されている。

【実践女子大学本】

- 題簽・外題・内題等はなく、奥書もないが、『宗安小歌集』独自の小歌が過半を占めるため『宗安小歌集』と特定できる。巻末に笹野本序文の後半部が付載され、所収十九首の全てが笹野本と重複するが、笹野本の抄写本ではなく、同一原本から派生した異本と位置づけられる。
- 特徴は、半丁毎に小歌一首を散らし書きにしており、遊び心にみちあふれた趣味人の生活がうかがわれる。

参考に小歌二首を並べてみました。さて下の歌は、どこから詠み始めるのでしょうか？



- 1) ひとり寝しもの、憂やな二人寝、寝初て、憂やなひとり寝
- 2) 衣衣（きぬぎぬ）の枕に、はらはらはほろほると 別れを慕うは、涙よの、涙よの

○この『宗安小歌集』の二本を影印・翻刻した図書が、来年3月国文学研究資料館より刊行されます。寄贈されましたら、是非ご覧ください。

Library Mail

大学図書館の書庫移動と図書総返却のお知らせ

「この本、元の場所に戻したいのに入れる隙間がないなあ... ずらすと、他の本まで落ちてきそうだなあ...」

皆さんは、日頃図書館を利用して、この様に思った事はありませんか？

現在、大学・短大ともに図書館の書架は、新しい本を並べられないのではないかと思うほど、スペースが無くなってきています。そこでそれを解消し、より良い利用環境を作るために、2/22(月)～3/27(土)の間閉館し、図書の配架場所の再編成と移動を行います。それにともない、貸出中の図書を2月19日(金)までにすべて返却していただきます。

したがって、今年度の春休み特別貸出は行いません。利用者の皆さんの理解とご協力をお願いいたします。



移動のポイント

- ・ 1階と地下2階にある和書の言語学分野（ラベルの800番台）の本を、地下1階へ移動します。
- ・ 言語学分野の抜けた書架へは、芸術分野（700番台）と文学分野（900番台）の書架を拡張し、余裕をもたせます。
- ・ 地下1階にある製本洋雑誌を集密書庫へ移動し、洋図書書架を拡張し、余裕をもたせます。
- ・ 洋書の書誌コーナーを地下1階に新設します。

いんふお-め-しょん

1998年12月～1999年3月

大学図書館

短期大学図書館

冬休み特別貸出

期間：12/14(月)～1/7(木)
返却日：1/11(月)
資料：図書のみ(無制限) 雑誌は通常通り

冬休み中の開館

開館日：12/21(月), 22(火), 24(木), 1/6(水), 7(木)
時間：9:00～16:00
※12月25日(金)は書庫整理のため閉館

試験期の開館

1/8(金)～1/23(土) 開館時間延長
月～金 9:00～18:45
土 9:00～16:00

試験期の貸出

1/8(金)～1/23(土) 3日間貸出

試験終了後の開館

1/25(月)～28(木) 9:00～18:00
2/5(金)～2/20(土) 9:00～16:00

※1/29(金)～2/4(木)は入学試験のため閉館

※2/22(月)～3/27(土)は書庫移動・蔵書点検のため閉館

※3/29～4/2 開館しますが、カウンター無人サービス

試験終了後の貸出

1/25(月)～28(木) 2週間貸出
2/5(金)～ 貸出図書はすべて2/19(金)返却

春休み特別貸出は、今年度は行いません。

大規模な書庫移動を行いますので、貸出図書は2月19日(金)までに、すべて返却していただきます。皆様のご協力をお願いします。

冬休み特別貸出

期間：12/14(月)～12/24(木)
返却日：1/8(金)
対象：図書(指定図書を除く)、AV資料
冊数：図書 無制限 AV資料 6巻

冬休み中の開館

開館日：12/21(月), 22(火), 24(木)
時間：9:00～16:00

試験期の開館

1/8(金)～1/23(土) 開館時間延長
月～金 9:00～18:00
土 9:00～16:00

1/25(月)～28(木) 9:00～17:30

試験期の貸出

1/8(金)～1/21(木) 3日間貸出

試験終了後の開館

2/15(月)～3/19(金) 9:00～16:00

※1/29(金)～2/13(土)は入学試験・図書移動のため閉館

※3/10(水), 11(木)は後期入学試験のため閉館

春休み特別貸出

期間：1/22(金)～3/19(金)

返却日：4/12(月)

卒業予定者は3/19(金)

対象：図書 無制限 指定図書 3冊
AV資料 6巻

※詳細や変更は掲示にてお知らせします。

編集後記

館報の編集委員会は、発行の約3ヶ月前から行われます。今回は季節柄X'mas特集でということになりました。10月の初めには、いまいちピンとこなかったX'masももうすぐですね。楽しい年末を！

Library Mate 第21号 1998年12月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1
発行責任者 板垣弘子